

## 2010年度心理臨床センター活動報告

菊田和代（同志社大学心理臨床センター）

### 1. 開室状況

2010年11月のオープン以降、開室日数はTable 1のとおりであった。

Table 1 開室日数

11月	12月	1月	2月	3月	合計
19	18	16	19	22	94

### 2. 電話対応状況

電話対応の内訳はTable 2のとおりであった。

Table 2 電話対応件数

月	新規 申込	継続 予約	中止 変更	紹介	問い 合せ	合計
11月	0	1	0	0	1	2
12月	3	0	1	1	1	6
1月	2	1	2	0	5	10
2月	1	0	1	0	5	7
3月	2	0	2	0	5	9
合計	8	2	6	1	17	34

### 3. 相談件数

相談件数はTable 3のとおりであった。

Table 3 相談受理のべ件数

月	初回面接	継続面接	のべ件数
11月	0	1	1
12月	1	2	3
1月	2	4	6
2月	1	6	7
3月	0	8	8
合計	4	21	25

### 4. 相談者内訳

相談者の内訳はFigure 1～Figure 3のとおりであった。ただし付き添いは含まない。

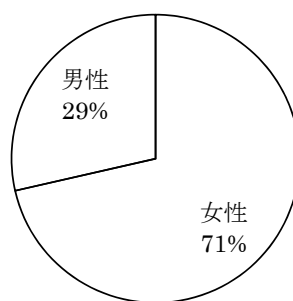


Figure 1 相談者の性別

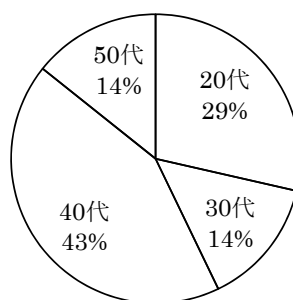


Figure 2 相談者の年齢層

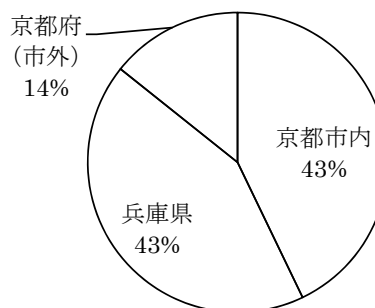


Figure 3 相談者の居住地域

## 5. 主訴内訳

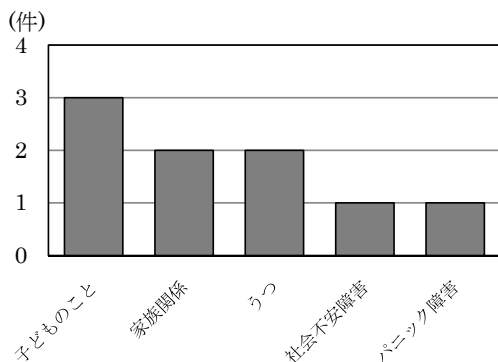


Figure 4 主訴内訳 (重複あり)

## 6. 来所経緯

相談者が心理臨床センターを知った経緯は Figure 5 のとおりであった。

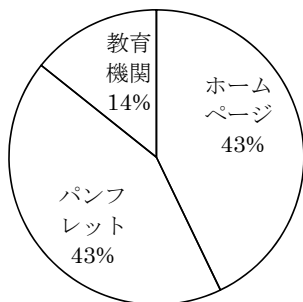


Figure 5 相談者の来所経緯

## 7. 心理臨床センター委員会

### 第1回

日時 2010年9月16日(木)  
12時35分～12時50分

場所 有終館担当理事室

出席者 内山伊知郎(センター長), 佐藤豪(副センター長), 龍城正明(学生支援機構長), 土田道夫(教育支援機構長), 吉岡康博(総務部長)

### 第2回

日時 2011年3月30日(木)  
12時05分～12時25分

場所 有終館担当理事室

出席者 内山伊知郎(センター長), 佐藤豪(副センター長), 土田道夫(教育支援機構長), 吉岡康博(総務部長)

## 8. 心理臨床センター運営委員会

### 第1回

日時 2010年11月1日(月)  
11時00分～12時00分

場所 継志館心理臨床センター 研修室

出席者 内山伊知郎(センター長), 佐藤豪(副センター長), 杉若弘子, 武藤崇, 木下裕之(事務長), 菊田和代

### 第2回

日時 2010年11月8日(月)  
11時00分～12時30分

場所 継志館心理臨床センター 研修室

出席者 内山伊知郎(センター長), 佐藤豪(副センター長), 杉若弘子, 武藤崇, 木下裕之(事務長), 菊田和代

### 第3回

日時 2010年12月1日(水)  
12時25分～13時10分

場所 徳照館 実験室12

出席者 杉若弘子, 武藤崇, 木下裕之(事務長), 菊田和代

### 第4回

日時 2010年12月13日(月)  
11時00分～12時00分

場所 継志館心理臨床センター 研修室

出席者 佐藤豪(副センター長), 杉若弘子, 武藤崇, 木下裕之(事務長), 菊田和代

第5回

日時 2010年12月20日(月)  
13時00分～14時30分  
場所 継志館心理臨床センター 研修室  
出席者 佐藤豪(副センター長), 杉若弘子,  
武藤崇, 興津真理子, 木下裕之(事務長), 菊田和代

第6回

日時 2011年1月12日(水)  
11時00分～13時00分  
場所 徳照館 資料室  
出席者 佐藤豪(副センター長), 杉若弘子,  
武藤崇, 興津真理子, 木下裕之(事務長), 菊田和代

第7回

日時 2011年1月26日(水)  
11時00分～13時00分  
場所 徳照館 資料室  
出席者 佐藤豪(副センター長), 杉若弘子,  
武藤崇, 興津真理子, 木下裕之(事務長), 菊田和代

第8回

日時 2011年2月23日(水)  
11時00分～13時00分  
場所 徳照館 資料室  
出席者 佐藤豪(副センター長), 杉若弘子,  
武藤崇, 興津真理子, 木下裕之(事務長), 菊田和代

第9回

日時 2011年3月9日(水)  
11時00分～12時30分  
場所 徳照館 資料室  
出席者 佐藤豪(副センター長), 杉若弘子,  
武藤崇, 興津真理子, 木下裕之(事務長), 菊田和代

## 9. 研究活動

心理臨床センターに属する指導相談員, 相談員が行った研究活動は下記のとおりであった。

### 論文

Muto, T., Hayes, S. C., & Jeffcoat, T. The Effectiveness of Acceptance and Commitment Therapy bibliotherapy for enhancing the psychological health of Japanese college students living abroad. *Behavior Therapy*, **42**, 323-335.

中西美和・佐藤豪: ライフスパンで捉えたラケット感情の検討. *心理学研究*, **81**, 373-380.

中谷陽輔・佐藤豪・橋本幸 青年期におけるアイデンティティの学年差に関する横断的研究 *同志社心理*, **57**, 32-39.

菅原悠・河越隼人・杉若弘子 大学生の人間関係における親密度の多様性と精神的健康の関連 *同志社心理*, **57**, 58-65.

鶴澤悦子・佐藤豪・上里一郎・瀬戸正弘 禁煙継続者と喫煙再開者を区別する心理社会的要因の検索 *心身医学*, **51**, 61-71.

内山伊知郎 生涯を通じた健やかで安心な発達のために *Academia*, **123**, 1-8.

### 刊行物

藤健一・望月昭・武藤崇・青山謙二郎(責任編集) 行動分析学研究アンソロジー2010 星和書店

武藤崇・原井宏明・吉岡昌子・岡嶋美代[翻訳] ACTをはじめる:セルフヘルプのためのワークブック 星和書店(原典: Hayes, S. C. & Smith, S. (2005). *Get out of your mind & into your life: The new Acceptance and Commitment Therapy*. Oakland, CA: New Harbinger Publications)

武藤崇 応用行動分析の技法 下山晴彦(編) 「認知行動療法を学ぶ」金剛出版 pp.90-105.

武藤崇 アクセプトランスとコミットメントの方法 下山晴彦(編) 「認知行動療法を学ぶ」金剛出版 pp.235-248.

## 学会活動

Hayes, S. C., Pistorello, J., Lillis, J., Muto, T., Biglan, T., & Seeley, J. R. Prevention of suicidality and mental health problems in college students: The role of experiential avoidance. The 44th Annual Convention of the Association for Behavioral and Cognitive Therapies, シンポジウム話題提供, 11月.

河越隼人・杉若弘子・余語真夫・佐藤豪 弁護士のカウンセリング技法応用可能性の検討法と心理学会第11回大会, 口頭発表, 10月.

菊田和代・近藤清美 成人愛着スタイルが脅威情報の注意バイアスに及ぼす影響 日本心理臨床学会第29回秋期大会, ポスター発表, 9月.

Kishita, N., Ohtsuki, T., Shimada, H., Muto, T. Examining the effects of cognitive defusion versus thought distraction on verbal stimulus functions and public speaking anxiety. The 44th Annual Convention of Association for Behavioral and Cognitive Therapies, シンポジウム話題提供, 11月.

木下奈緒子・武藤崇 臨床行動分析にもとづく脱フュージョンの作用機序の解明に関する基礎研究—刺激機能の変換に対する文脈制御の効果— 日本行動療法学会第36回大会, 口頭発表, 12月.

武藤崇 臨床行動分析・(再)入門 第36回日本行動療法学会, ワークショップ話題提供, 12月.

武藤崇 共通のOSは生成可能か? 日本行動療法学会第36回大会, 自主シンポジウム企画話題提供, 12月.

Nakatani, Y., & Sato, S. Cultural Difference of Identity Style Inventory 4th Version. 1st Doshisha-Chung-Ang Symposium of Psychological Science, 口頭発表, 11月.

酒井美枝・甲田宗良・伊藤義徳・武藤崇 精神的健康の改善における「Creative

Hopelessness」の役割; 「言行一致」の枠組みからの検討 日本行動療法学会第36回大会, ポスター発表, 12月.

杉若弘子 「社交不安を訴える10代女性に対する介入: “まちなか暴露”中心の介入の成果」行動療法コロキウム'09 in 釜山, 事例コメント, 3月.

山崎真理子・高木悠哉・中村瑤子・斎藤瞳・佐藤豪・青山謙二郎 食事内容の記録がその後の間食の摂食量に及ぼす効果 関西心理学会第122回大会, 口頭発表, 11月.

## 10. 社会貢献

心理臨床センターに属する指導相談員, 相談員が行った社会貢献は下記のとおりであった。

### 研究会活動

佐藤豪・杉若弘子・余語真夫 法曹界における人材育成プログラムの開発 (法律事務所との産学連携による研究会, 10月18日, 1月14日, 3月17日)

### 講演・公開講座

菊田和代 子育て支援のためのカウンセリング技法 (上京区民生委員会児童母子福祉専門部会, 3月18日)

武藤崇 ACTは何から『できて』いるのか: ACTを始める前に (東京認知行動療法アカデミー主催 第21回ワークショップ テーマ別ワークショップ「ACT」, 1月9日)

興津真理子 個別スーパーヴィジョン担当 (京都女子大学大学院発達教育学研究科心理学専攻臨床心理学領域)

興津真理子 聖泉大学ピアヘルパー研修会構成的グループエンカウンター・カウンセラー (2月15日, 16日)

杉若弘子 教育相談「関わる」講座 (京都府総合教育センター専門研修, 8月19日)

杉若弘子 産業カウンセラーにおける「リサー

チ」(日本産業カウンセラー協会主催シニアカウンセラー講座, 9月4日)

## 11. 2010年度構成員

センター長

内山伊知郎 (同志社大学心理学部 教授)

副センター長

佐藤 豪 (同志社大学心理学部 教授)

指導相談員

杉若 弘子 (同志社大学心理学部 教授)

武藤 崇 (同志社大学心理学部 教授)

興津真理子 (同志社大学心理学部 准教授)

相談員

菊田 和代 (同志社大学心理臨床センター)

以上

